

(ご参考①) 平成20年度業績の概要と平成21年度の経営方針

平成20年度業績の概要：

「不透明・不確実な経営環境に適切に対応しつつ、中長期的な成長の実現に向け着実に前進」

金融市場の混乱、株価の大幅な下落及び国内外の急激な景気悪化等に伴う、株式等減損の発生や、与信関係費用の増加に加え、こうした環境変化に早期に対応し平成21年度以降の着実な業績回復を図るべく、経済環境の悪化を踏まえた引当金の積み増しや繰延税金資産に係るより保守的な対応等を実施いたしました。

不透明・不確実な経営環境への対応

<業務純益>

厳しい収益環境下においても、資金利益増益、債券損益の改善等に加え、経費率の40%台へのコントロールにより前年比増益を確保

<財務的な対応>

経営環境の悪化を踏まえた引当金の積み増しや繰延税金資産に係る保守的な対応を実施

<自己資本比率11%台、Tier 1比率8%台の確保>

- 優先出資証券(合計約1.1兆円)の発行
- 新BIS規制における先進的内部格付手法導入

		(億円)	
・P/L		20年度	前年比
(SMB C単体)	業務粗利益	15,249	+ 401
	経費	▲ 7,015	▲ 364
	<経費率>	46.0%	+ 1.2%
	業務純益 ^{*1}	8,234	+ 37
	与信関係費用	▲ 5,501	▲ 4,023
	当期純利益	▲ 3,011	▲ 5,068
(S M F G連結)	当期純利益	▲ 3,735	▲ 8,350

中長期的な成長の実現に向け着実に前進

<法人向けソリューション>

円滑な資金供給体制構築、法人営業部及び専門協働組織の強化(CA本部、PA本部に加え、グローバル・アドバイザリー部を設置)

<個人向け金融コンサルティングにおける商品・サービスラインアップ強化>

平準払保険等の取扱店舗等の拡大

<クレジットカード事業>

事業を統括する中間持株会社「SMFGカード&クレジット」を設立(20年10月)

<海外>

強みのある商業銀行との戦略的提携(バークレイズ・国民銀行(韓国)・東亜銀行(香港)・第一商業銀行(台湾))

		(億円)	
・B/S関連		21/3末	20/3末比
(SMB C単体)	繰延税金資産 ^{*2}	6,641	▲ 3,054
(S M F G連結)	自己資本比率(速報値)	11.47%	+ 0.91%
	Tier 1比率(速報値)	8.22%	+ 1.28%

*1 一般貸引前 *2 繰延ヘッジ損益に関する繰延税金資産相当額及びその他有価証券評価損益に関する繰延税金負債相当額を除く

平成21年度 経営方針と戦略施策：

「基本原則に則った業務運営の徹底により、守りを固めつつ、着実な成長を目指す」

「経費」「クレジットコスト」「リスクアセット」の3つのコントロールを意識した業務運営を徹底するとともに、中長期的な成長の実現に向けた「グローバルプレーヤーに相応しい財務体質の実現」と「成長事業領域の強化」に取り組んでまいります。

■ 「経費」「クレジットコスト」「リスクアセット」のコントロール

経 費 成長事業領域への傾斜配分／事業の効率性向上 → 経費率(SMB C単体)を40%台にコントロール

クレジットコスト グローバルベースの与信管理機能の強化／リスク管理態勢の高度化

リスクアセット お客さまへの円滑な資金供給／より適切かつ積極的な金融仲介機能の発揮、リスクに見合ったリターン確保 → 8%程度の連結Tier 1比率を継続的に維持

■ グローバルプレーヤーに相応しい財務体質の実現

- ・普通株式の発行登録(本年4月)を行い、新株式発行を柔軟に行うための体制を整備

■ 成長事業領域の強化

～「follow the basics」のキーワードの下、基本原則に則った業務運営を継続的に強化

法人向けソリューションビジネス/
投資銀行・信託業務

中小企業のお客さまの資金調達ニーズへの対応
大和証券エスエムビーシーとの連携を強化
(本年6月に施行予定のファイアーウォール規制の見直し対応)

個人向け金融コンサルティングビジネス

「トータルコンサルティング」の実現を目指し、
商品ラインアップを一層拡充／コンサルタントのスキル向上

支払・決済・コンシューマーファイナンス

2社体制(三井住友カード、セブイ)によるシナジーを通じた「本邦ナンバーワンのクレジットカード事業体」の実現、オリックス・クレジットの共同事業化

グローバルマーケットにおける特定分野

現地法人「三井住友銀行(中国)有限公司」設立
英国バークレイズ・ピーエルシーとの業務協働推進(ウェルスマネジメント分野、南アフリカ等)

日興コーディアル証券を中心とする事業の取得

新たな「複合金融」ビジネスの創造を目指す